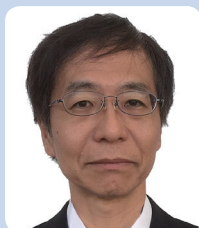


統計調査ニュース

令和2年（2020年）11月

No.408



令和2年国勢調査 ～ 新型コロナウイルス感染症を乗り越え、 更なる精度向上を目指して ～

総務省統計局統計調査部長 井上 卓

令和2年国勢調査の調査事務は、新型コロナウイルス感染症が終息しない中、実査から審査・集計のフェーズに移ってまいりました。地方公共団体、調査員、指導員の皆様の多大なる御尽力を得てここまで進められたこと、厚く御礼申し上げます。また、令和2年7月豪雨といった自然災害に見舞われ、現在も避難生活を余儀なくされるなど、困難な状況にいらっしゃる方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の実情に応じ、非接触型の調査方法の導入、調査書類の配布期間の延長、不在世帯に対する再訪問回数の緩和、調査票の回収期間の延長、審査期間の延長といった対策を取り入れましたが、こうした取組は、厳しい状況下での確実な調査実施を担保することにとどまらず、大きく二つの

点で、結果精度の向上に寄与すると考えております。

一つ目は、実査段階において非接触型の方法を進めるに当たり、これまで以上にインターネット回答を強力に推進したことです。インターネット回答は、入力時のチェック機能により回答誤りが縮減するとともに、全項目の回答が必須であることから、調査結果に含まれる不詳の縮減にも寄与します。皆様の御尽力により、インターネット回答件数は2100万件を超え、前回実績を上回る状況であり、調査結果の精度向上が期待されます。

二つ目は、実査後のフェーズである地方公共団体における調査書類の審査において、地域の実情に応じて期間を延長するとともに、従前は調査票に先行して提出することとしていた要計表を、今回は調査票との同時提出に改めたこと

です。審査期間をしっかりと確保することによる精度の担保だけでなく、調査票と整合した正確な要計表を作成することにより、要計表に基づく速報結果の精度向上が期待されます。

調査結果の公表時期は、こうした対策に伴い、当初の計画から変更し、速報集計は令和3年2月から6月へと4か月、確報集計は最大2か月後ろ倒しすることとなりました。公表時期が遅くなることは、統計利用者に御不便をおかけすることとなりますが、だからこそ、そのマイナス面を上回るプラス面となる精度の向上を実現し、国家国民の社会経済活動の基盤となる、正確な国勢調査結果を提供したいと切に考えております。

調査に携わる皆様におかれましては、引き続きの御理解、御尽力をお願いする次第です。

目次

令和2年国勢調査	「令和2年秋の叙勲」	
～新型コロナウイルス感染症を乗り越え、更なる精度向上を目指して～… 1	／キッズ向け統計学習イベントを開催しました！ ……	4
令和3年経済センサス－活動調査の実施に向けて（その4）	統計研修生募集の御案内	
－広報・協力依頼について－ ……	－令和2年度第4四半期（令和3年1～3月）－ ……	5
「2020年度 統計関連学会連合大会」に参加して ……	オンライン研修「初めて学ぶ統計」リニューアル ……	6
	とうけい通信⑧ ……	7

令和3年経済センサス-活動調査の実施に向けて(その4)

- 広報・協力依頼について -

経済センサス - 活動調査を正確かつ円滑に実施するためには、事業所・企業に対して調査名及び調査の実施について知っていただくとともに、関係各所の理解と協力を得る必要があります。

総務省及び経済産業省では、令和2年度は「企業構造の事前確認」(※)及び本調査の実施について、各種団体等に対し協力依頼を行い、令和3年度は、効果的なメディアを活用して広く全国規模の周知を行うことを目的とした総合企画広報を実施するなどして、調査への理解の醸成に努めます。

(※)「企業構造の事前確認」とは、調査票の配布に先立ち、支社等の新設・廃止や事業内容を事前に確認いただき、支社等の事業内容に応じた調査票を配布することを目的として実施するものです。

○重要ポイント

▶ 調査名称の認知度(率)の向上

・調査の認知度(率)を高めることで、より積極的に調査に回答してもらうように努めます。

▶ インターネットによる回答の推進

・インターネット回答の利便性及び情報保護への配慮をアピールすることで、インターネット回答を推奨するとともに、安心して調査に回答できることを周知します。

▶ 調査の必要性の理解の醸成

・国や地方のみならず、調査対象企業が営む事業にも直結する重要な調査であるという理解を醸成します。

▶ 訴求対象に応じた効果的な協力依頼の実施

・直接・間接的に関連する各種団体等に協力依頼を行い、傘下団体を含めた調査実施の浸透を図ります。また、直轄調査対象企業を中心に、回答をより一層促進する取組を進めます。

○主な広報・協力依頼活動(総務省及び経済産業省実施分)

▶ 各種業界団体等に対する広報の依頼(令和2年8月～令和3年5月)

・令和3年調査の実施に先立ち、各種業界団体等に対し、事業所・企業への周知を依頼します。
・「企業構造の事前確認」については、令和2年8月に、各種業界団体等に対し、同様の依頼を行いました。

▶ 「企業構造の事前確認」に伴う新聞広告の実施(令和2年11月)

・「企業構造の事前確認」への協力を求めるため、「企業構造の事前確認」の確認票の送付・回収時期に合わせた新聞広告を実施しました。

▶ 総合企画(メディアミックス)の実施(令和2年12月～)

・新聞、テレビ・ラジオCM、ポスターや各種PR活動を通じて、広報タレント等を起用した統一かつ効果的な広報を全国的に展開することにより、調査対象に対する調査への理解を醸成します。

○主な広報企画(予定)

広報媒体等	実施時期	概要
テレビ・ラジオCM	令和3年5月～6月	調査票配布期間及び回収期間のそれぞれの訴求内容に合わせたスポットCMを作成し、全国のテレビ・ラジオ局で放送します。
新聞広告	令和3年4月～6月	調査実施事前周知、調査票配布期間、調査票回収期間のそれぞれの訴求内容に合わせた広告を全国紙に掲載します。
雑誌広告	令和3年5月～6月	調査票配布期間及び回収期間中のそれぞれの訴求内容に合わせた広告を、雑誌に掲載します。
インターネット広告	令和3年4月～6月	バナー広告を掲載し、キャンペーンサイトへのリンクを張るなどして調査の周知を行います。
キャンペーンサイト	令和2年12月～	「令和3年経済センサス - 活動調査キャンペーンサイト」を開設し、調査の実施について情報を発信します。
SNSアカウント	令和2年12月～	SNSを活用し、タイムリーな情報を広く、かつ継続的に発信します。

▶ 各府省への協力依頼(令和3年3月)

・各府省に対し、所管する事業所や独立行政法人等に、調査対象である旨の周知や事業所構内に所在する民営事業所への調査員の立入り等の周知を依頼します。

「2020年度 統計関連学会連合大会」に参加して

統計局、政策統括官(統計基準担当)、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の6学会(別掲)に団体会員として加盟しており、毎年、いずれかの大会において研究成果を発表しています。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、学会によっては当初予定されていた開催日程を変更したほか、すべての学会でオンラインによる開催となりました。ここでは9月に開催されました「統計関連学会連合大会」の概要を紹介します。

9月8日(火)から9月12日(土)にかけて、2020年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会の主催により開催されています。

今年度は、以下のテーマについて、発表講演を行いました(敬称略)。

9月9日(水) 10:00～12:00 【雇用・労働分野】

○労働力調査結果からみた新型コロナウイルス感染症の影響

尾形 はづき、堀川 泰輝、大島 敬士
(統計局労働力人口統計室)

9月9日(水) 13:00～14:40 【公的・民間統計分野】

○消費動向指数(CTI)の推計結果の改善に関する検討
櫻井 智章(統計局消費統計課)

9月10日(木) 15:30～17:10 【経済・経営統計分野】

○グローバル化とSNA
萩野 覚(統計委員会担当室)

9月11日(金) 10:00～12:00

【公的統計におけるデータ補正と利活用の新展開】

○消費関連統計における新規手法の適用事例
柴田 卓也(統計局消費統計課)

9月11日(金) 15:30～17:10 【マイクロデータ】

○統計データの二次的利用における統計センターの取組
千葉 亮太、下川原 由佳((独)統計センター)

9月12日(土) 10:00～12:00

【大規模データにおける匿名加工とプライバシー保護をめぐる】

○我が国の公的統計の二次的利用に関する最新状況及び研究の動向について
高部 勲(統計データ利活用センター)

学会期間中には、2018年4月に和歌山県に開設された「統計データ利活用センター」の活動について、統計マイクロデータのオンサイト利用の推進や「miripo(マイクロデータ利用ポータルサイト)」の開設等、統計データの利活用を推進してきたことが評価され、「日本統計学会統計活動賞」を受賞し、以下のとおり授賞式及び記念講演が行われました。

9月11日(金) 13:00～17:30

【日本統計学会各賞授賞式・記念講演】

○記念講演「総務省統計データ利活用センターの取組」
講演者：高部統計データ利活用センター長



表彰状と楯

加盟学会の今年度の大会スケジュール(日程順)

- 日本統計学会(統計関連学会連合大会)
9月8日(火)～12日(土)
- 日本経済学会-秋季大会
10月10日(土)～11日(日)
- 地理情報システム学会-第29回学術研究発表大会
10月23日(金)～25日(日)
- 経済統計学会-第64回全国研究大会
11月7日(土)～8日(日)
- 日本人口学会-第72回大会
11月14日(土)～15日(日)
- 日本品質管理学会-第50回年次大会研究発表会
11月28日(土)

「令和2年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の栄誉に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝単光章

安達 昇 (北海道)	※敬称略	島田 幸世 (埼玉県)	中野 博 (三重県)
内野 兼佳 (北海道)		成家 毅 (千葉県)	加藤 章子 (三重県)
川森 勝衛 (北海道)		大亀 幸子 (千葉県)	堀井 幸子 (京都府)
黒田 鐵博 (北海道)		有賀 美佐子 (千葉県)	岸本 記久江 (大阪府)
菅原 進 (北海道)		梅林 房江 (東京都)	甲田 彰子 (大阪府)
海基 務 (北海道)		田村 美津子 (神奈川県)	戎谷 悦子 (大阪府)
長田 孝司 (北海道)		遠藤 幸恵 (神奈川県)	奈良 恵世 (兵庫県)
横田 伸夫 (北海道)		倉田 幸子 (神奈川県)	上田 敏子 (兵庫県)
荒谷 順子 (青森県)		渡辺 壽子 (神奈川県)	橋田 道代 (奈良県)
阿部 自雄 (岩手県)		高橋 健一 (新潟県)	小田 睦生 (岡山県)
早坂 恵美子 (宮城県)		豊嶋 茂 (新潟県)	小寺 貞文 (岡山県)
原田 恭三 (秋田県)		野口 麻理子 (新潟県)	白神 緑 (岡山県)
加藤 孝 (山形県)		清水 明美 (新潟県)	笹岡 美智子 (広島県)
後藤 せつ子 (山形県)		吉田 清子 (富山県)	高尾 順子 (広島県)
鈴木 タイ子 (福島県)		田中 他佳子 (石川県)	正木 都代 (徳島県)
遠藤 精一 (福島県)		山本 淑子 (石川県)	新宅 文子 (愛媛県)
田尻 智子 (栃木県)		藤原 恵美子 (福井県)	和田 竹子 (高知県)
萩原 敬子 (群馬県)		中西 レイ子 (長野県)	田辺 ユリ子 (福岡県)
新井 京子 (群馬県)		後藤 明美 (岐阜県)	石橋 敏子 (福岡県)
松本 永子 (埼玉県)		水谷 吉江 (愛知県)	今泉 つね子 (佐賀県)
		日下 和子 (愛知県)	山田 千代子 (大分県)
		神野 順子 (愛知県)	阿波根 紀子 (沖縄県)

キッズ向け統計学習イベントを開催しました！

9月19日及び20日に小学校5・6年生を対象としたキッズ向け統計学習イベント「わくわく！統計アカデミー for KIDS」を開催しましたので、その概要を紹介します。

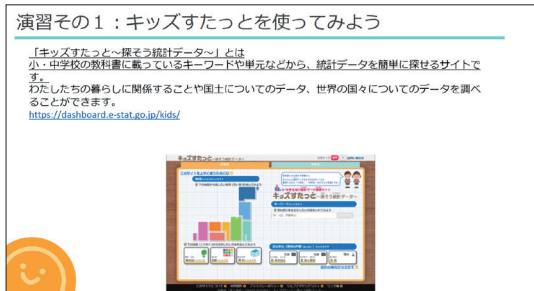
「わくわく！統計アカデミー for KIDS」は、子供たちの身の回りにある様々な事象を題材に、統計が社会の問題解決にどのように役立てられているかを楽しく学ぶことができるWEBセミナーで、全国から約50人の子供たちがZoomを使ってオンラインで参加しました。中には海外から参加してくれた子もいました。



国勢調査の話

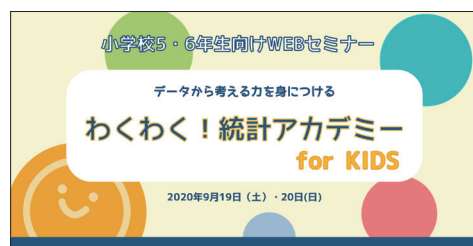
子供たちは、『キッズすたっと～探そう統計データ～』の操作方法や国勢調査の話、平均・中央値・最頻値、グラフの読み方などを熱心に学んでいました。演習では「キッズすたっと」を使って検索したデータからグラフを作成し、そこから読み取れたことをグループワークで発表しました。また、随時質問や意見、参考情報をチャット機能で積極的に発信し、子供たち同士も交流を深めて

いました。



『キッズすたっと』の操作

実施後の保護者向けアンケートでは、「国勢調査に興味を持ち、一緒に取り組んでみました。」「子供がキッズすたっとを自主学習に活用すると言っていました。」などの意見が寄せられ、「統計」を身近に感じてもらうきっかけとなりました。



▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

— 令和2年度第4四半期(令和3年1～3月) —

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員(教員を含む。)及び政府関係機関の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和2年度第4四半期に実施する研修は以下のとおりですが、研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又はポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

◇ 統計業務取扱職員研修「統計担当者向け入門(1月)」 《2.5日間》【募集人数 50名】

- ▶ **研修概要** 統計調査の企画設計・実施などの実務的な基礎知識を学ぶとともに、統計分析手法やグラフの書き方等について学び、演習も実施します。
- ▶ **研修期間** 令和3年1月12日(火)～1月14日(木)
- ▶ **研修科目** e-Statの利用、地図で見る統計(統計GIS)、統計グラフの基礎・作成、統計調査入門、データ分析入門

◇ 統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」 《5日間》【募集人数 40名】

- ▶ **研修概要** 産業連関表作成の仕組みや、地域産業連関表の作成方法や産業連関表の分析手法を学び、演習も実施します。市町村産業連関表の推計も紹介します。
- ▶ **研修期間** 令和3年1月18日(月)～1月22日(金)
- ▶ **研修科目** 産業連関表の仕組み、地域産業連関表の作成、地域産業連関表の作成演習、産業連関表(全国表・地域表)の概要、産業連関表の考え方、産業連関表を用いた分析事例、市町村産業連関表の推計方法

◇ 政策立案・評価コース「政策評価と統計」 《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ **研修概要** 行政評価に必要な統計の知識・理論を学び、アンケートの調査・集計・解析の演習を行います。
- ▶ **研修期間** 令和3年1月27日(水)、1月28日(木)
- ▶ **研修科目** 行政評価における統計データの見方・使い方、行政評価の現状と課題、アンケートの調査・集計・解析
- ▶ **注意事項** 教材費が別途(3,000円程度)発生します。

◇ ミクロデータコース「ミクロデータ分析—Rによる統計解析—」 プログラミング又は統計解析ソフトのスキプトの作成経験がある職員を対象とした課程

- ▶ **研修概要** ミクロデータの分析のための知識と技術を学び、擬似ミクロデータを用いた演習を行

います。

※ 統計解析ソフト「R」を利用

- ▶ **研修期間** 令和3年2月1日(月)～2月4日(木)
- ▶ **研修科目** 統計解析ソフトウェアRとマイクロデータ分析の基礎、標本抽出法と標準誤差の評価、マイクロデータ分析の実際
- ▶ **注意事項** 教材費が別途(3,000円程度)発生します。

◇ 統計業務取扱職員研修「統計担当者向け入門(2月)」 《2.5日間》【募集人数 50名】

- ▶ **研修概要** 統計調査の企画設計・実施などの実務的な基礎知識を学ぶとともに、統計分析手法やグラフの書き方等について学び、演習も実施します。
- ▶ **研修期間** 令和3年2月8日(月)～2月10日(水)
- ▶ **研修科目** e-Statの利用、地図で見る統計(統計GIS)、統計グラフの基礎・作成、統計調査入門、データ分析入門

◇ 政策立案・評価コース「政策立案と統計」 《3日間》【募集人数 40名】

- ▶ **研修概要** 政策立案に必要な統計の知識・理論、統計が政策立案にいかされた事例等を学びます。
- ▶ **研修期間** 令和3年2月24日(水)～2月26日(金)
- ▶ **研修科目** 地域施策と統計データの利活用、統計と社会問題への対策、公的統計データの利用方法、EBPMと統計など

◇ 地域分析コース「地域分析」 《4日間》【募集人数 40名】

- ▶ **研修概要** 地域における少子高齢化や人口動向、産業構造の実態を通して、地域分析の知識と分析手法を学ぶとともに、GIS(地理情報システム)やRESAS(地域経済分析システム)を用いた経済・観光などの地域分析を学びます。
- ▶ **研修期間** 令和3年3月2日(火)～3月5日(金)
- ▶ **研修科目** 地域分析と地域人口推計の基礎、地域世帯推計、小地域人口推計とGIS、RESASを用いた地域分析

※「令和2年度統計研修のご案内」(パンフレット)から、一部日程を変更しています。今後も変更の可能性がございます。応募締切り等の詳細は、各機関に送付する募集要項を御確認ください。

※「ビッグデータ利活用－基礎から応用まで－」については、令和2年度はスケジュールの都合上、開講しないこととしました。なお、昨年度の講義の様子を統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」に掲載しております。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研修の定員を縮減することや研修を中止することがあり得ますので、あらかじめ御了承ください。

〈問合せ先〉

総務省統計研究研修所研修企画課企画係

TEL 042-320-5874 E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

総務省統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を政府統計共同利用システム内に開設していますので、積極的な活用をお願いいたします。

【ポータルサイト掲載項目(主なもの)】

- 統計研修一覧(募集案内、開催予定、シラバス等)
- 受講申込方法(募集要項、推薦書様式等)
- 自主学习用教材
- 統計研究研修所の概要

統計研修ひろばURL

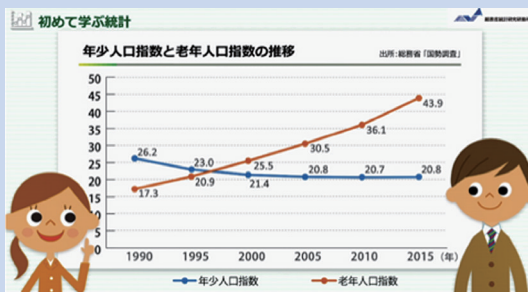
<https://t-kensyu.sbj.nstac.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク(LGWAN)に接続している必要があります。

オンライン研修「初めて学ぶ統計」リニューアル

総務省統計研究研修所では、職場や自宅でも受講可能なオンライン研修を平成28年度から実施しています。令和2年度からは、全ての職員が統計リテラシーを身に付けていくための初歩となる「初めて学ぶ統計」を、①公務員として統計を利活用する上で最低限知っておくべきことを網羅、②身近な統計データを例にした解説、③できるだけ数式・記号等を使用しないなど、新規に採用された方、初めて統計データを作成・利用する方にも理解しやすい内容にリニューアルして開講しています。

研修にはアニメーションを取り入れるなど、より分かりやすく学習しやすい内容としています。



〈研修イメージ〉

〈問合せ先〉

総務省統計研究研修所 研修企画課 オンライン研修係 TEL 042-320-5874

令和2年度はオンライン研修を年4回実施します。既に実施した2回の研修には多くのお申込みをいただき、2,500名以上の方が修了しています。

〈受講者の声〉

- 一つのコマが10分程度と短く、隙間時間で受講できるのが有り難かった。
- 動画の色づかいや絵などが親しみやすく、また、字幕が出るので理解しやすかった。
- 動画の速度調整ができることや何度も繰り返し視聴できるのが良かった。
- グラフのCGアニメーションなど視覚的に理解しやすい工夫がされていた。
- コロナ禍でのオンライン研修は大変有り難かった。
- 特に若手職員が早い時期に受講することが有用であると感じた。
- 初めて統計学を学ぶ人間にとって、ちょうど良いレベルだったと思う。

なお、令和2年度第4回のオンライン研修は、令和3年2月に実施することとしており、1月中旬に募集要項を発出する予定としております。受講を希望される方は、各機関の研修担当にお申込みください。

とうけい通信⑧

「誰も一人にさせないまち」の実現を目指して

横須賀市経営企画部都市戦略課

■横須賀市の概要

横須賀市は、明治40年2月15日に神奈川県内で2番目に市政を施行し、平成13年4月に中核市に移行しました。人口390,549人(R2.4.1推計人口)、面積100.82km²で、東京から50km圏内にあり、東西を海に囲まれ暖冬涼夏で自然に恵まれた土地です。

歴史の舞台においては、嘉永6年(1853年)、軍艦4隻を率いたアメリカ合衆国東インド艦隊司令長官ペリー提督が上陸した「開国のまち」として、近代日本の幕開けに重要な役割を果たしました。

その後、横須賀製鉄所や海軍工廠こうしょうが建設され、「基地のまち」として発展してきました。戦後は、旧軍港市転換法により比較的大規模な製造業が臨海部に多数立地し、都市化が進みました。



東京湾に浮かぶ自然島「猿島」

現在は、①可能性に溢れた海に関連する地域資源を最大限に活用する「海洋都市」、②音楽やスポーツにより郷土への帰属意識を高め人々を元気にし地域を活性化させる「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」、③人のあたたかさや安心感が得られさまざまな世代が共生できる仕組みをつくる「個性ある地域コミュニティのある都市」の3つをグランドデザインに、「誰も一人にさせないまち」の実現を目指しまちづくりを進めています。

このグランドデザインのもと、横須賀の再興を図っています。

イメージキャラクター
スカリン

■政策立案推進のための統計

本市の人口は、昭和52年5月に40万人を突破(401,581人)し、平成4年5月にピーク(437,170人)を迎えて以降減少が続き、平成30年2月に40万人を割り込みました(399,845人)。今後も、人口減少は続くことが見込まれています。こうした状況の中で、より効率的で効果的な政策を展開していくためには、統計情報から得られるデータが大きな役割を果たすと考えています。

そのため統計の部門は、これまでの統計を集めるための組織から、「統計情報の収集」「統計結果の公表」「統計情報の活用」を一連の流れとして活用する組織への転換を進めており、平成31年に総務部門(総務部)から政策部門(政策推進部)に移管しました。



ウインドサーフィンワールドカップの経済波及効果を検証

■経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用

本市では、経済波及効果の分析を通して、政策効果の測定等を行うことにより、EBPMの推進に寄与する取組を進めています。

これまでに本市独自の分析ツール開発や、活用マニュアルの作成、操作研修の開催、操作方法等に関する相談により、庁内での活用の促進を図ってきました。

日常的には分析支援として、当課が経済波及効果の考え方の説明やアンケート票の作成、ツールの操作方法の解説を行い、これらの支援を基に、庁内の各課が、必要なデータの収集やアンケート調査実施、分析ツールの活用を行って、政策効果の測定等に取り組んでいます。

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業			家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人								%	円	2015=100
実数	2020.5	125,895	6656	2.9	268,761	78.7	23.4	252,017	383,245	101.8	102.0		
	6	P 125,93	6670	2.8	442,703	80.2	P 27.7	273,699	843,846	101.7	101.9		
	7	P 125,96	6655	2.9	368,810	87.2	P 27.6	266,897	561,673	101.9	102.1		
	8	P 125,93	6676	3.0	273,186	88.1	P 27.2	276,360	436,280	102.0	102.1		
	9	P 125,81	6689	3.0	P 269,503	P 91.6	...	269,863	380,986	102.0	101.9		
	10	P 125,88	P 101.8	
前年同月比	2020.5	-	-1.1	* 0.3	-2.3	* -8.9	-23.2	-16.2	13.4	0.1	0.4		
	6	-	-1.1	* -0.1	-2.0	* 1.9	P -12.7	-1.2	18.9	0.1	0.3		
	7	-	-1.1	* 0.1	-1.5	* 8.7	P -12.6	-7.6	11.7	0.3	0.6		
	8	-	-1.1	* 0.1	-1.3	* 1.0	P -13.0	-6.9	0.8	0.2	0.3		
	9	-	-1.2	* 0.0	P -0.9	*P 4.0	-	-10.2	2.9	0.0	0.2		
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) P:速報値 * :対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2020年11月~12月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
11月11日	統計研修 統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講(～13日)	12月15日	統計研修 人口統計コース「社会・人口統計の基本」開講(～16日)
16日	オンライン研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講(～12月11日)	12月22日	統計研修 地域分析コース「GISによる統計活用」開講(～23日)
17日	統計研修 統計データアナリスト補研修「統計分析の基本」開講(～20日)		
24日	オンライン研修【第3回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎①-」開講(～12月18日)		
26日	統計研修 ミクロデータコース「ミクロデータ分析のためのプログラミング-統計解析ソフトRの利用方法-」開講(～27日)		
30日	オンライン研修【第3回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎②-」開講(～12月25日)		

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
11月6日	家計調査(家計収支編:2020年9月分及び2020年7～9月期平均)公表	12月中旬	2020年科学技術研究調査結果公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2020年9月分及び2020年7～9月期平均 ICT関連項目:2020年7～9月期平均)公表	18日	消費者物価指数(全国:2020年11月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2020年9月分及び2020年7～9月期平均公表	〃	小売物価統計調査(全国:2020年11月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2020年10月分公表	21日	人口推計(2020年7月1日現在確定値及び2020年12月1日現在概算値)公表
10日	労働力調査(詳細集計)2020年7～9月期平均公表	24日	住民基本台帳人口移動報告(2020年11月分)公表
20日	人口推計(2020年6月1日現在確定値及び2020年11月1日現在概算値)公表	25日	労働力調査(基本集計)2020年11月分公表
〃	消費者物価指数(全国:2020年10月分)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部:2020年12月分(中旬速報値)及び2020年平均(速報値))公表
〃	小売物価統計調査(全国:2020年10月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2020年12月分)公表
24日	第70回日本統計年鑑(令和3年)刊行	28日	サービス産業動向調査(2020年10月分速報及び2020年7月分速報)公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(2020年10月分)公表	下旬	2019年経済センサス-基礎調査(甲調査確報)公表
27日	消費者物価指数(東京都区部:2020年11月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部:2020年11月分)公表		
30日	サービス産業動向調査(2020年9月分速報及び2020年7～9月期速報並びに2020年6月分確報及び2020年4～6月期確報)公表		
12月1日	労働力調査(基本集計)2020年10月分公表		
4日	小売物価統計調査(ガソリン)2020年11月分公表		
8日	家計調査(家計収支編:2020年10月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2020年10月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2020年10月分公表		


編集発行 **総務省統計局**
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
 ホームページ <https://www.stat.go.jp/>
 御意見・御感想をお待ちしております。